



姉妹都市、メキシコ州

初めまして。この度、第43期日墨戦略的グローバルパートナーシップに埼玉県の推薦者として参加している山崎千聖です。

私は大学でスペイン語を専攻し、今年の春に卒業しました。メキシコ訪問は、今回の研修で3度目となります。1度目は大学3年次の7ヶ月間の語学留学、2度目はその帰国後に旅行で訪れました。

メキシコは日本とほぼ同じ人口であるにも関わらず、国土は日本の約5倍ととても広大な土地を持つ国です。また、多くのインディヘナ（先住民）たちが今も古の伝統を受け継いで生活しており、それがこの国の文化と歴史を豊かなものにしています。そのため何度訪れてもメキシコを完全にマスターすることはできず、毎回初めての連続です。

一方、日本ではマイナスイメージが先行してしまっているのですが、そのイメージを払拭すべく、この埼玉県親善大使レポートにて数え切れないほどのメキシコの素敵なおところをご紹介します。と思っています。

メキシコに到着してからすでに1ヶ月以上がたち、現在、私たちはメキシコシティ（通称 DF）にあるメキシコ国立自治大学付属の語学学校（CEPE）にて勉強しています。埼玉県の推薦で参加させて頂いている私たちですが、残念ながら生活の拠点は首都の DF になります。

ですが、せっかくなので、今月のレポートでは、埼玉県と姉妹提携しているメキシコ州についてご紹介したいと思います。

メキシコ州には、私たちが住んでいる DF から長距離バスに乗り北上し、1時

間ほどで到着することができます。メキシコでは、電車はDF内ではしか走っておらず、他の州との行き来は長距離バスや飛行機、もしくは自家用車のみとなります。

メキシコ州は、面積では全メキシコ31州中25位目とあまり大きくない州ですが、人口では第1位を誇る、最も人口密度の高い州です。また標高2700メートル前後に位置し、一年中朝晩はひどく冷え込みます。暖かい時期でも最低気温10度前後、寒い時期になると気温がマイナスにもなることも珍しくはありません。

メキシコ州はとても工業が盛んな州で、少し中心部から離れるだけで多くの企業の工場がひしめく工業地域に出ます。もちろん日本企業の工場もあり、中でもNISSANやMAZDAなどの自動車会社がメキシコ人の中でも優良就職先として注目されています。

そしてその工業地帯を過ぎると、今度は、現在の生活様式と昔ながらの生活が混ざった地域に出ます。もちろん車やバス、タクシーなどの交通手段を使う人がほとんどですが、時には馬に乗り移動している方や、ロバに荷物を積んで移動している人、牛の散歩をしている人を見つけることもそう難しくありません。



<ロバを先導する犬。ロバは、枯れたとうもろこしを運んでいます>



<近くに来るとなかなか迫力があります>



<道端で草を食む牛>

また、メキシコ州に限ったことではありませんが、一般的に首都より地方に行った方が美味しい食べ物があるとされています。メキシコ州には様々な食べ物がありますが、今回は、私が一番好きなタコスを紹介したいとおもいます。TACOS DE FIERA (タコス デ フィエラ) または TACOS DE CARNITAS MICHUACANA (タコス デ カルニタス ミチョアカーナ) というのですが、名前にある通り、実は元々はミチョアカン州の名産だったようです。ですが、とても美味しいので紹介させていただきます。

このタコス屋さんにはメキシコ州中心部から少し離れ、バスで1時間ほど行っ

た ATARASQUILLO (アタラスキージョ) というところにあります。

大きな鍋の中に部分ごとに分けられた豚が丸々一匹入っています。味付けは日本でいう豚の角煮のようですが、醤油は一切使われていないというのでとても不思議です。聞くところによるとラード・オレンジ・タイムなどと一緒に煮ているようで、豚の脂とラードで甘みが出ると説明されました。不思議です。お鍋の画像は少々グロテスクなので、美味しいタコスの画像だけ載せさせていただきます。



山盛りにお肉を盛ってくれるため、タコス1~2つで十分にお腹いっぱいになります。

メキシコ州だけでも紹介したいことがまだまだあるのですが、全部紹介するとなると果てしなく長くなってしまいますので、ここまでとさせていただきます。

メキシコに来る機会がありましたら、メキシコ州で美味しいタコスぜひ食べてみてください！